

大槻三好

おほのき
みよし

歌人。明治二十六年一月二十一日群馬縣新田郡九合

村生れ（一九三二）。群馬縣師範學校卒。爾來教育生活。大正十一年文

語歌より口語歌へ轉じ、翌年清水信主宰誌『郷愁』に、十四年『藝術

と自由』に加はる。次で『短歌建設』、『短歌料』同人。この間の昭

和四年新短歌誌『松篁』主宰。また油繪を能くした。

著書、年刊歌集『新短歌』一九二七年（合著・新短歌クラブ編、昭

和十一年十一月十日第一書房）、『少年國民短歌練成童心の短歌を培ふ』（昭

和十七年十一月十五日須磨書店）、『上主文学散歩』（合著・萩原進

編、昭和二十五年十一月二十日群馬・群馬県文化協議会）、『自由短歌の先駆者

高草木暮風』（昭和四十九年九月一日群馬月刊）等。

